市民と市長の対話集会「スマイルトーク」議事録要旨（９月27日開催・高岡中学校区）

質問NO	質問タイトル	参加者質問要旨	市長回答要旨	開催地区NO	開催中学校区
1	発達障がい等について	発達障がい者の就労支援・二次障害防止の職場環境づくりや認知症・終末期医療における「人生会議（ACP）」の周知を進めてほしい。	発達の特性を抱える人が二次障害を防ぎながら社会で活躍できるよう、市だけでなく民間企業にも理解を広めていく。 また、人生会議もまだ浸透していないので、市で作成した『私の思いをつなぐノート』をより広く普及できるよう努力していきたい。	8	高岡中
2	未病予防について	市における病気になる前の予防策である未病予防の取り組みについて伺いたい。	未病予防としては生活習慣の改善に向け、減塩・運動・禁煙の3本柱と、帯状疱疹・肺炎球菌等のワクチン補助、5大がん検診の受診促進に注力している。	8	高岡中
3	高岡地区の発展について	市主催の「いきいき教室」はスタッフも素晴らしく感謝している。医師出身である市長の高岡地区に対する将来の夢や希望はあるか。	旧薩摩藩の偉人である高木兼寛先生の顕彰活動について、顕彰会の皆さんと一緒に盛り上げていきたい。また、「やすらぎの里」も、何とか良い形で再開させたい。	8	高岡中
4	高木兼寛生誕180年記念事業について	高木兼寛先生の演劇上演について市のご支援に感謝したい。2029年（令和11年）秋に予定している「高木兼寛生誕180年記念事業」に向け、市としての継続的な協力を求めたい。	演劇は医師会や顕彰会等のご協力のおかげで成功できた。2029年の生誕180年記念事業についても、早めに市とご相談していただき、市としても支援・協力をしていきたい。	8	高岡中
5	高岡地区への宿泊施設誘致について	高岡や隣の田野地区周辺に宿泊施設があると便利なので、誘致できれば地域に活気が出るのではないか。	やすらぎの里の温泉施設の再開を最優先としつつ、隣接する健康広場を活用したキャンプやグランピング等の宿泊機能の整備について、業者と協議・対話を続けている。	8	高岡中
6	地域のDX推進について	地域の人手不足や業務過多に限界を感じているDXを活用した地域の支援・バックアップ体制の構築や、宮崎市公式アプリ等のPR・活用方針についてどのように考えているか。	宮崎市公式アプリは活用者が少なく苦戦している一方、LINE登録者は約6万人に増加し情報の伝達が容易になった。現状は広報としての活用にとどまるが、今後は地域の状況に応じたデジタルの活用を検討していきたい。	8	高岡中
7	学校・PTA・保護者間のコミュニケーションについて	教員が過剰なコンプライアンスやハラスメントを意識し、保護者やPTAとの対面交流が困難になっている。関係構築に向けた教育委員会等によるルール作りや積極的な後押しをしてほしい。	教員の疲弊や過度なコンプライアンス意識により、学校とPTAの距離が開いている現状の課題を認識した。子どもたちのために協力体制が不可欠であるため、教育長としっかり協議・検討していく。	8	高岡中
8	企業誘致・産業団地整備の推進について	高校生の県内就職率が過去のワーストから改善したことには安心したが、地元に生徒を引き留めるための受け皿となる企業が必要。高岡の広大な土地を活用したさらなる企業誘致と産業団地整備をお願いしたい。	高校生の県内就職率向上のため、高校を巡回して地元定着の働きかけに努めている。高岡の第2花見工業団地の早期企業決定を図るとともに、市内各所で50ヘクタール以上の産業団地整備を進め、付加価値の高い企業を誘致していく。	8	高岡中
9	コミュニティバスの見直しについて	乗合タクシー「絆」の自己負担率を軽減して利用しやすくしてほしい。また、やすらぎの里の再開にあたり「兼寛の湯」など親しみやすい名称を提案したい。	乗合タクシーの負担割合は市全体での議論が必要なので即答できないが、地域の要望として受け止めさせていただく。「やすらぎの里」の名称は、再開へ向けて動いている民間企業に地元の皆さんの思いをしっかり伝えさせていただきたい。	8	高岡中
10	高岡地区の公共施設の評価について	穆園館の廃止検討に地域として危機感を覚え、稼働率を0.5%まで上げた。総合支所や交流センターも含めこの中央部は高岡の核となる重要なエリア。今後どのように発展整備していかれるのか、市長のイメージを伺いたい。	新たな公的投資が難しい時代のため、既存施設の利活用や民間の力を活かすことが重要。施設の老朽化に対しては、長寿命化や集約、建替えなど地域住民と対話しながら考えていきたい。	8	高岡中
11	まちづくり委員会の予算について	人口減に伴う現行の人口割を基準とした予算配分では予算額が減り続けてしまうため、面積割や地域割などを検討し、地域の切り捨てがないよう配慮してほしい。	まちづくり予算は、人口割を基本としつつ、人口が少ない地域への配慮として均等割も組み合わせている。他地区からの不公平感という声もある中で、市全体で協議し、より良い案があれば検討していきたい。	8	高岡中
12	Wi-Fi環境の早期整備について	学習支援事業の次年度以降の継続を希望するとともに、中高生の学習環境向上のため、交流センター以外の「学びスポット」である総合支所エレベーターホールや図書室へのWi-Fi環境の早期整備も要望したい。	学習支援事業については来年度以降も継続していきたい。また、Wi-Fi設置の要望については以前から必要性を認識しており、課題等もあるが引き続き前向きに検討していく。	8	高岡中
13	児童館について	週1回の移動式「くるくる児童館」では不十分なので、子どもたちが日常的に過ごせる児童館等の常設の遊び場の設置を検討してほしい。	高岡地区ではプレイパークや充実した図書室スペースがあるので、必ずしも児童館の形態にこだわる必要はないと考えている。他地域にも児童館のないエリアがあるので、高岡にはどのような形が適しているか考えていきたい。	8	高岡中
14	保護者負担軽減について	小学校給食費無償化は感謝するが、物価高に伴う中学校給食費や修学旅行費の負担が増えている。学校規模による旅行費用の格差もあるため、経済的負担を軽減できるよう、市や教育委員会からの支援をお願いしたい。	来年4月からの高校生までの医療費助成や就学援助の対象拡大を実施する。教育委員会で学用品や制服等の保護者負担をさらに軽減できないか引き続き検討していく。	8	高岡中
15	新規就農について	高岡にあった農業研修施設が移転して、高岡での研修生や新規就農者が減少している。市の今後の見通しや対策についてはどうなっているか。農業従事者を増やすことで、個人事業主としての税収を伸ばすことが市の運営にも寄与する。	高岡地区の新規就農者の減少については実態を確認したい。市としては、引き続き個人就農だけでなく農業法人化の推進も含め、持続可能な就農支援に取り組みたい。	8	高岡中
16	農産物のPRについて	農家が増えた場合の農産物の販路拡大に向け、市や市長のSNSなど、宮崎牛だけでなくキュウリやピーマン等のPRもできないか。	キュウリやピーマンなどの園芸作物については、園芸振興協議会を中心に振興策を進めている。今後のPRのあり方について今一度考えていきたい。	8	高岡中
17	一里山の山道について	一里山の山道（一里山～深水間）はいつ通れるようになるのか。	（高岡総合支所担当課長回答） 農面道路は県による工事が完了し、現在は市への引き継ぎに向けた事務手続きを進めている。形状としては通行可能だが、手続き上の理由から現在通行止めとなっている。早期に通行できるよう努めていく。	8	高岡中
18	大雨時における職員対応について	先週の大雨の際、9月19日土曜日に冠水・出水対応の依頼で高岡総合支所への電話がつながらなかった。大雨時における支所の電話不通の原因と職員の待機・電話対応体制はどうなっているのか。	（高岡総合支所担当課長回答） 9月18日の大雨の後、翌日19日の土曜日に職員は現場確認等の対応にあたっていた。担当課の電話に不具合があったとの報告を受けている。連絡がつかなかったことについてお詫びしたい。	8	高岡中